

# 指揮棒一振り 世界を切り拓く

## アルメニアからパリ、そして全世界へ



©Vahan Mardirossian

●講演：ヴァハン・マルディロシアン  
(指揮者・ピアニスト)

●司会：幅 至 (英語科講師)

皆さんは指揮者という仕事がどんなものか想像できますか？

数十人のオーケストラのメンバーを指揮棒一本で統制し、しかも全員に自分の望むような音楽を奏でさせる。

自分一人で楽器を演奏するだけでも大変なのに、自らは演奏せずに音楽のエネルギーでオーケストラを操り音楽を創り上げていく。

優れた音楽性以上のものが要求される、至難ではあるけれど夢のような仕事ではありませんか。

10代半ばで祖国アルメニアからパリに行き、研鑽を積んで指揮者として世界を駆け巡る。

そんな多忙な音楽家ヴァハンが自らの音楽体験、人生を語ってくれます。  
(Itaru Haba)

\* \* \*

講演は英語、フランス語をまじえて行いますが、幅先生に通訳をしていただきます。

ヴァハン氏ご本人はアルメニア語はもちろん、ロシア語、イタリア語にも通じています。

アルメニアという小国からパリの大舞台で活躍するようになった経緯の中で、どのような信念で困難を乗り越えたか、大きな夢を実現するための貴重なお話を聴くことが出来るに違いありません。

また、皆さんと直接言葉を交わす交流タイムも設けます。ふるってご参加ください。

### ◆プロフィール：ヴァハン・マルディロシアン

1975年アルメニア、エレヴァン生まれ。パリ音楽院でジャック・ルヴィエに学ぶ。首席卒業後、世界最高のヴァイオリニスト、イヴリー・ギトリスに見出され、ヨーロッパ各国、アメリカ、カナダ、日本各地でリサイタルを行う。ロストロポーヴィチ、ハンナ・チャンなど世界的な演奏家と共演を重ねる。現代音楽にも造詣が深く、エリック・タンギーよりピアノ・ソナタ第2番を献呈され、パリでの初演に際してル・モンドが絶賛。2006年、ニューヨークの指揮者セミナーに招かれクルト・マズアに学んで以来、指揮者としても非凡な才能を発揮する。フランス国立管弦楽団、ブラハ放送交響楽団、キエフ国立フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団等に客演。

現在はフランス・ノルマンディーのカーン市管弦楽団の音楽監督を務める。今迄にリリースしたCDは10枚以上。「ベートーヴェンピアノ・ソナタ集」「ブラームス作品集」(ヴァデ・メクム)など。

## 6月16日(土) 15:00~16:30

### 新宿校 701教室



**入場無料  
申込不要**

〒160-0023 新宿区西新宿 7-12-1

☎0120-198-520

●JR・小田急線・京王線・東京メトロ丸ノ内線・都営新宿線／新宿駅西口より徒歩3分

●都営大江戸線／新宿西口駅 D4 出口より徒歩1分

●西武新宿線／西武新宿駅南口より徒歩3分

